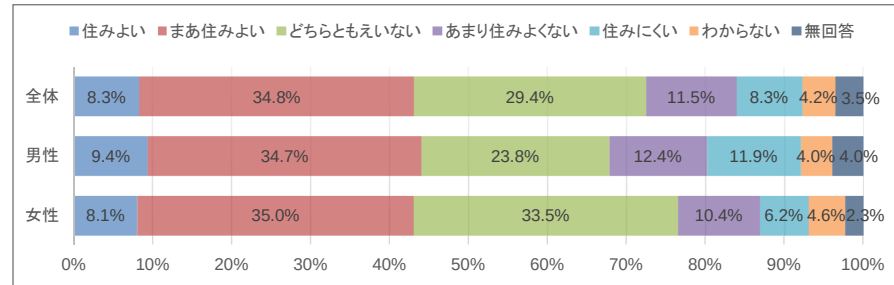


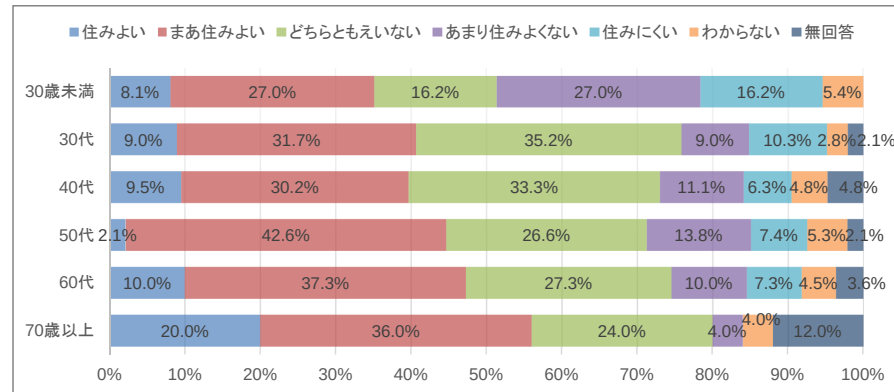
10 住みごちについて

設問 11① あなたにとって、鹿角市の住みごちはどうですか。

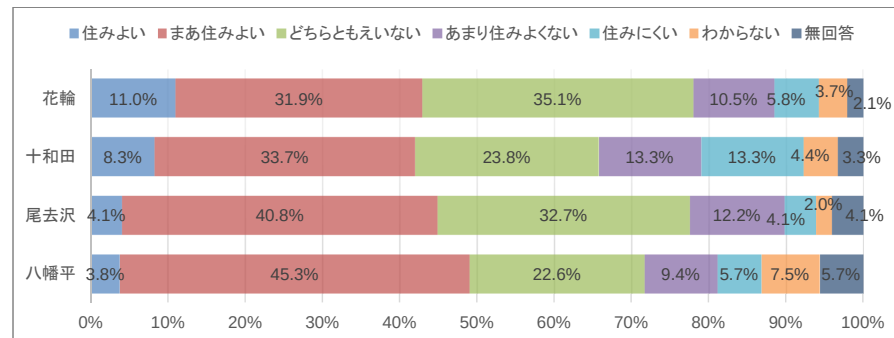
①全体／男女別



②年代別



③地区別



④分析結果

「住みよい」「まあ住みよい」と回答した方は 43.1%であり、「あまり住みよくない」「住みにくい」の 19.8%を大きく上回っているものの、前年（51.1%）から 8.0 ポイント減少し、基準値を下回る結果となりました。

年代別では、70 歳以上が 56.0%と最も高く、次いで 60 代が 47.3%、50 代が 44.7%という結果となり、70 歳以上を除くすべての年代において前年を下回りました。特に 30 歳未満では前年より 12.7 ポイント、30 代では 11.0 ポイント減少しています。

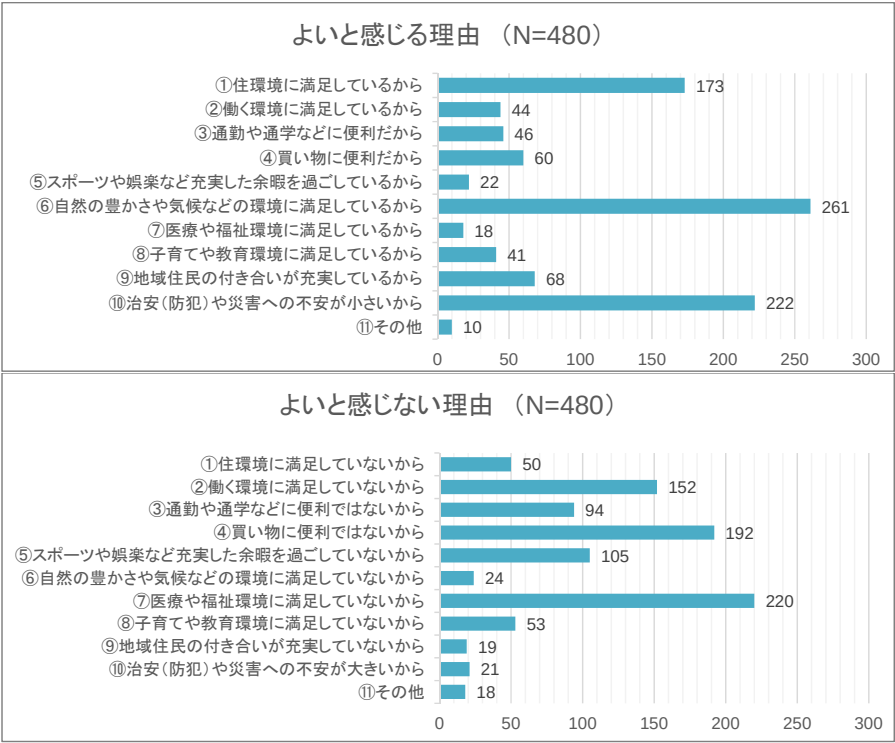
地区別では、「住みよい」「まあ住みよい」と回答した方が、八幡平地区の 49.1%が最も高く、いずれの地区においても 50%を下回る結果となりました。

〔参考〕まち・ひと・しごと創生総合戦略数値目標と実績値

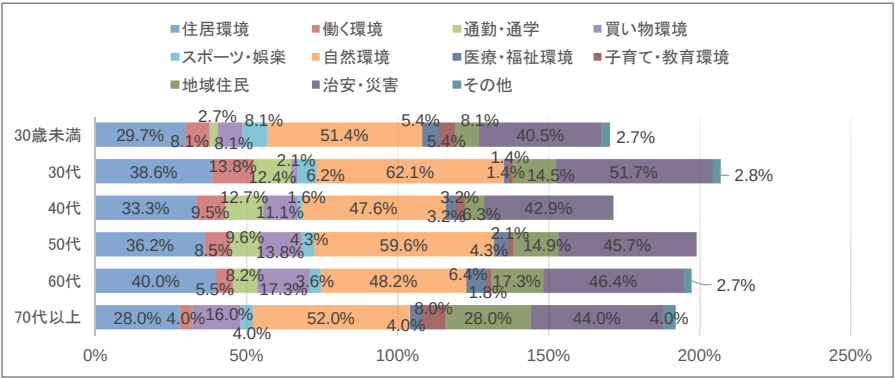
数値目標	基準値（H26）	実績値（H30）	目標値（H31）
住みごちの満足度	54.7%	43.1%	60.0%

設問 11② 住みごちについて考えたとき、よいと感じる理由とよいと感じない理由を、下表の中から、それぞれ3つまで選び、番号を記入してください。

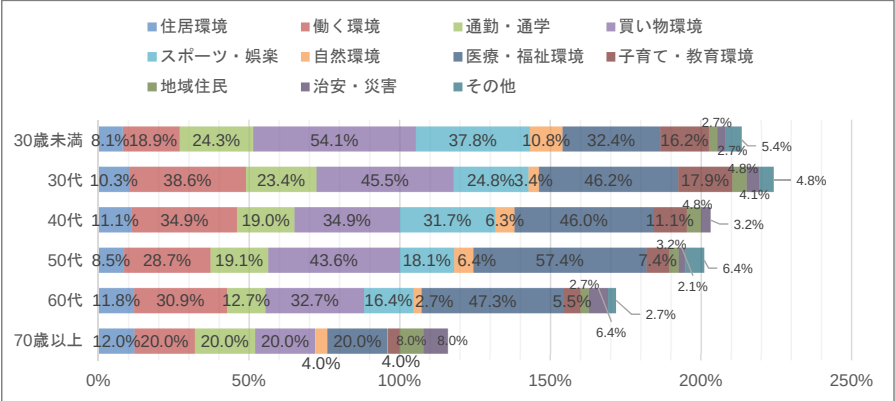
① 全体（3つまで選択）



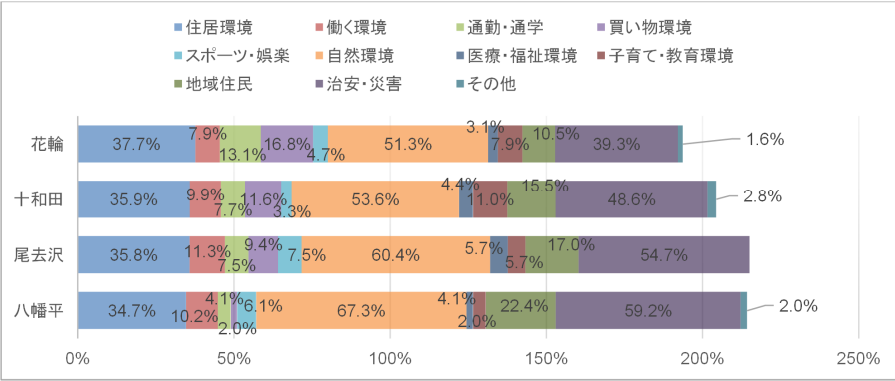
② 年代別（よいと感じる理由）



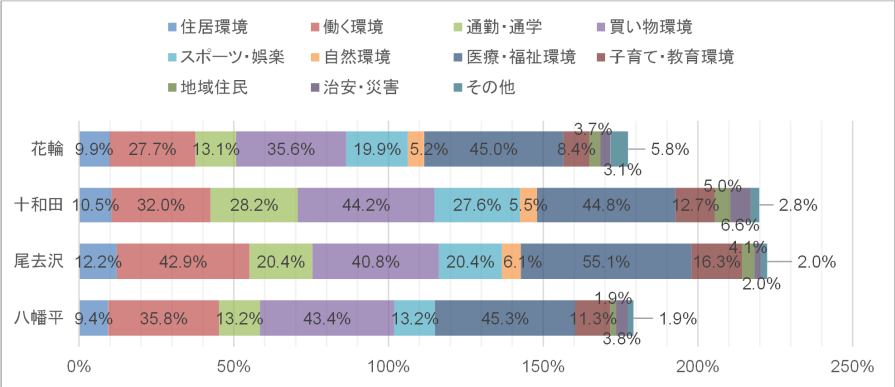
年代別（よいと感じない理由）



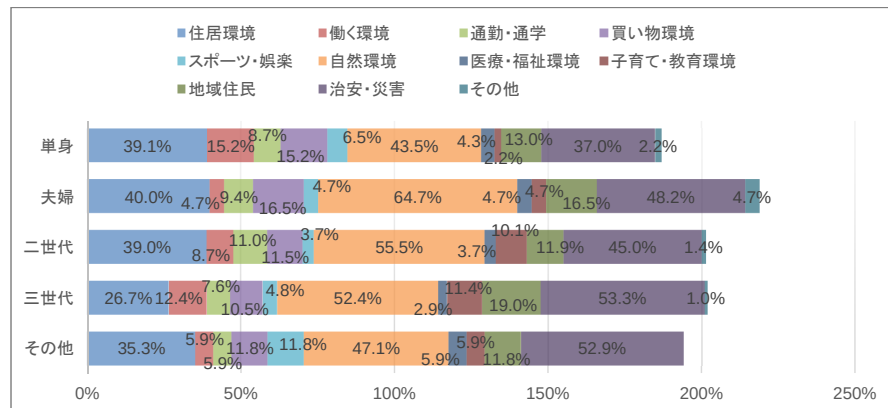
③ 地区別（よいと感じる理由）



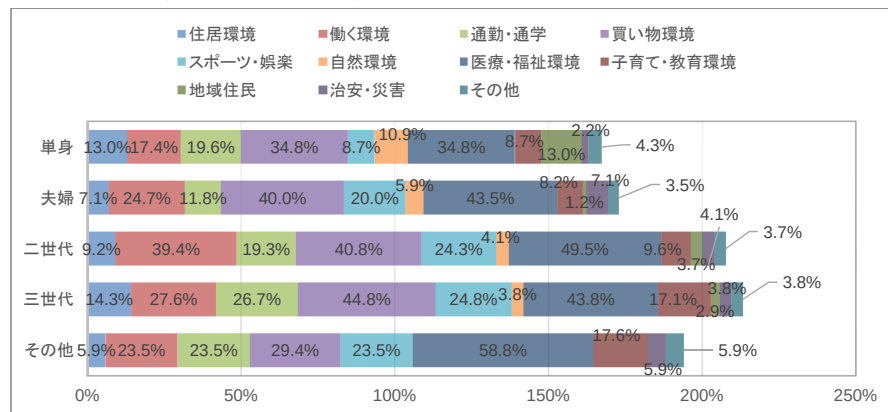
地区別（よいと感じない理由）



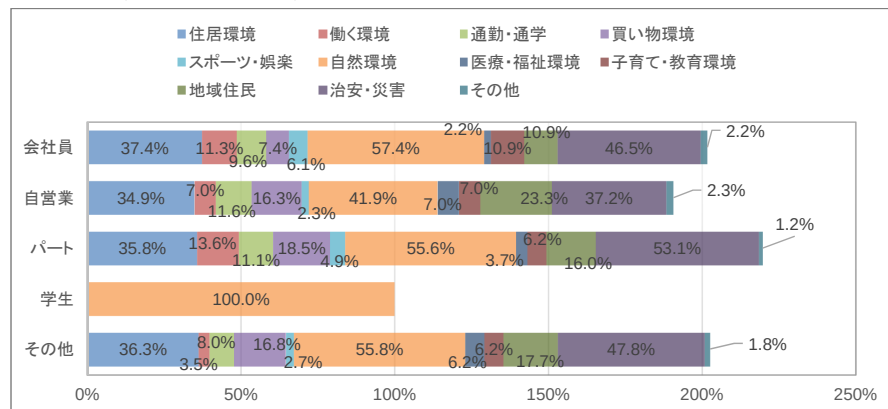
④ 世帯構成別（よいと感じる理由）



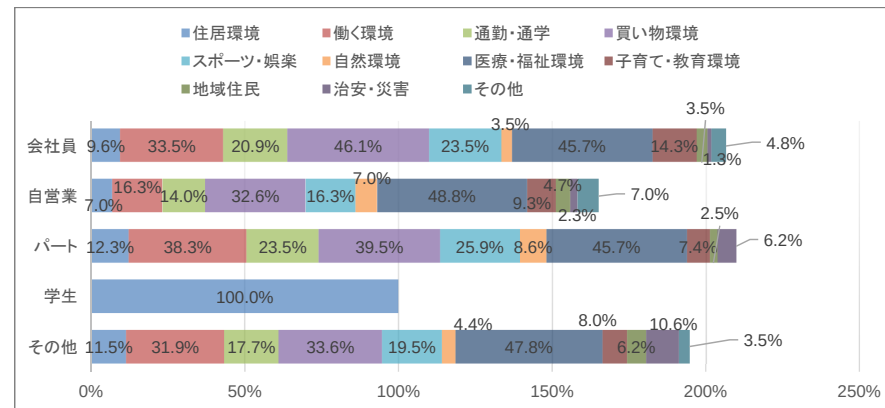
世帯構成別（よいと感じない理由）



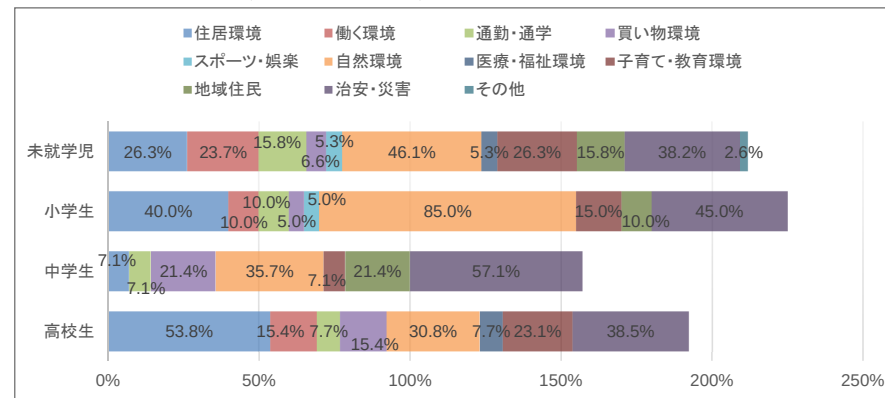
⑤ 職業別（よいと感じる理由）



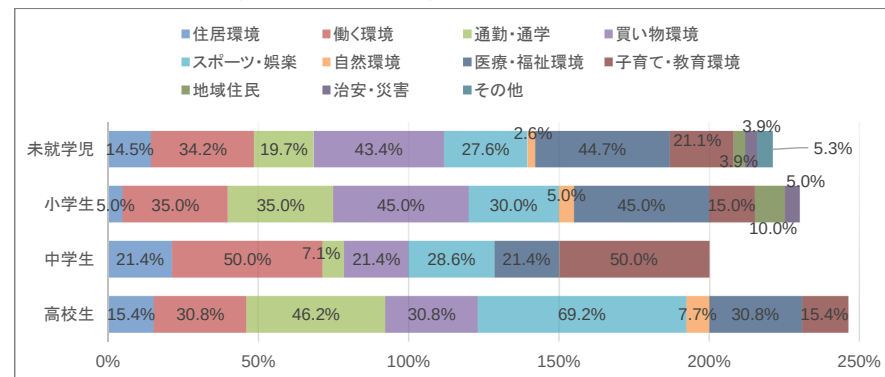
職業別（よいと感じない理由）



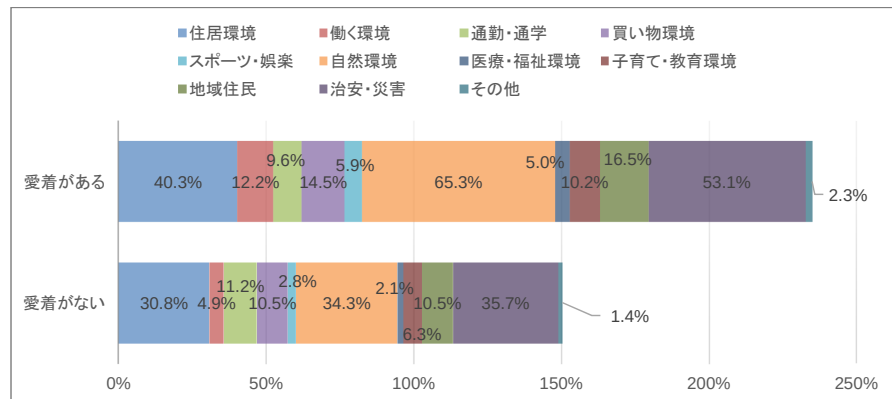
⑥ 子どもの成長段階別（よいと感じる理由）



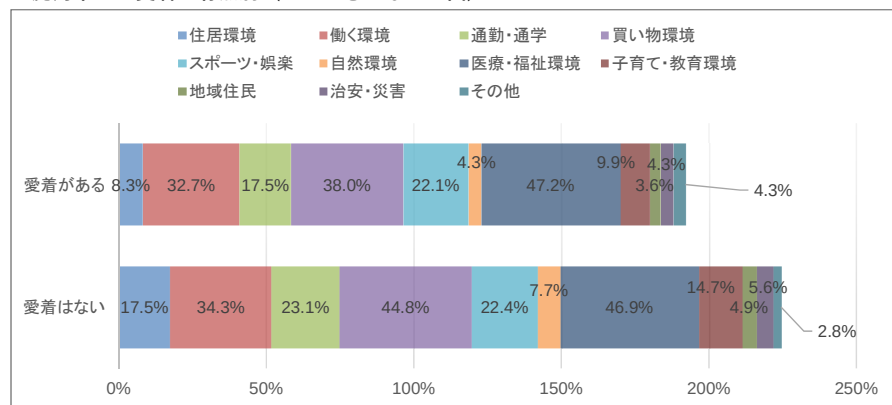
子どもの成長段階別（よいと感じない理由）



⑦ 鹿角市への愛着の有無別（よいと感じる理由）



鹿角市への愛着の有無別（よいと感じない理由）



⑧ 分析結果

住みよいと感じる理由として最も多かったのは、「自然の豊かさや気候などの環境に満足しているから」でした。次いで、「治安（防犯）や災害への不安の小ささ」「住環境に満足」が多く選択されました。「その他」の自由記述の内容としては、「高速道路を利用した近隣都市へのアクセスが便利」という意見が多く見られました。

住みよいと感じない理由としては、「医療や福祉環境に満足していない」「買い物に便利ではない」「働く環境に満足していない」が上位となりました。

年代別では、前問で 43.2%の方が「あまり住みよくない」「住みにくい」と回答している 30 歳未満において、「買い物に便利ではない」や「スポーツや娯楽で充実した余暇を過ごしていない」という理由が多く選択されています。

地区別では、「あまり住みよくない」「住みにくい」と答えた方が 26.6%で最も多い十和田地区で、「通勤や通学などに便利ではない」という理由が他地区よりも多く選ばれています。

子育てをしている方の子どもの成長段階別では、住みよいと感じる理由として、未就学児と小

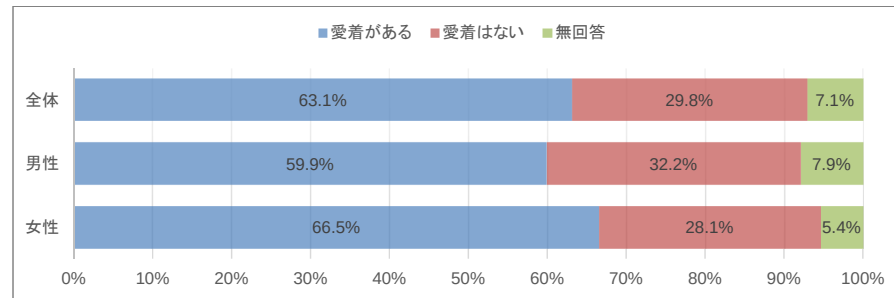
学生で「自然環境に満足」、中学生で「治安や災害への不安の小ささ」、高校生で「住環境に満足」が多く選択されてきます。一方、住みよいと感じない理由としては、未就学児と小学生で、「買い物環境」「医療・福祉環境」、中学生では「働く環境」「子育て・教育環境」、高校生で「通勤・通学環境」「スポーツ・娯楽」が多く選択されており、子どもの成長段階に応じて、住みよさに求めるものが異なる傾向にあることがうかがえます。

鹿角市への愛着の有無別で住みよいと感じる理由を分析すると、鹿角市に愛着を持つ方は「自然環境」や「治安や災害への不安の小ささ」について高く評価しています。住みよいと感じない理由としては、愛着がある方も「医療・福祉環境」、「買い物環境」、「働く環境」を多く選択しており、特に「医療・福祉環境」は半数近くの方が低く評価しています。愛着がないと答えた方は、愛着がある方と比べ、「住環境」「通勤・通学環境」「自然環境」「子育て・教育環境」に対する評価が低くなっています。

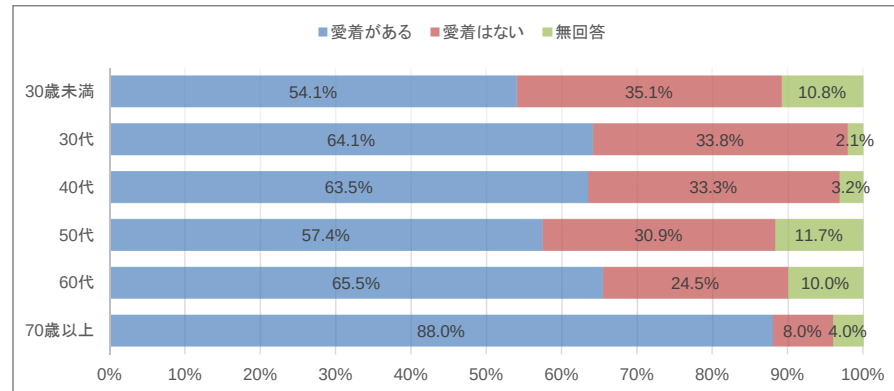
11 愛着について

設問 12 あなたは、鹿角市に愛着を持っていますか。

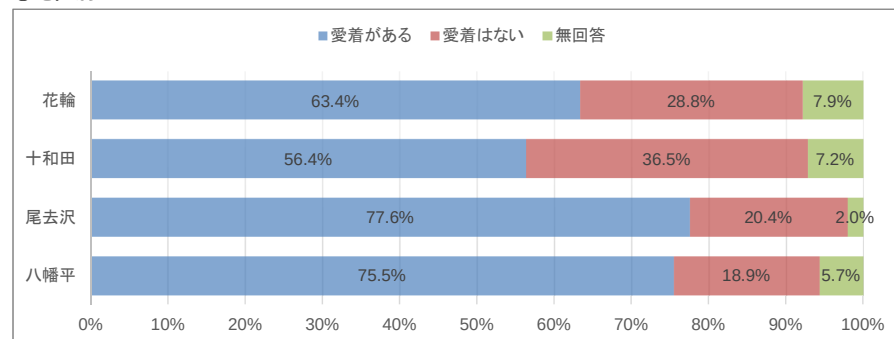
①全体／男女別



②年代別



③地区別



④分析結果

鹿角市に愛着がある方の割合は 63.1%で、前年（69.3%）を 6.2 ポイント下回りました。

年代別でみると、70 代が 88.0%と最も高くなりました。一方で、昨年最も高かった 50 代が 20.6 ポイント減少の 57.4%と大きく減少する結果となりました。

依然として、30 歳未満がもっとも低くはありますが、前年の 43.5%に対し 10.6 ポイント上昇の 54.1%と改善しており、全世代で愛着のある方の割合が 50%を超えました。

地区別でみると、尾去沢地区が 8.2 ポイント増加し最も高くなっていますが、それ以外の地区ではいずれも昨年度を下回る結果となり、特に十和田地区は 11.6 ポイントと大きく減少しています。

〔参考〕まち・ひと・しごと創生総合戦略重要業績評価指標（KPI）と実績値

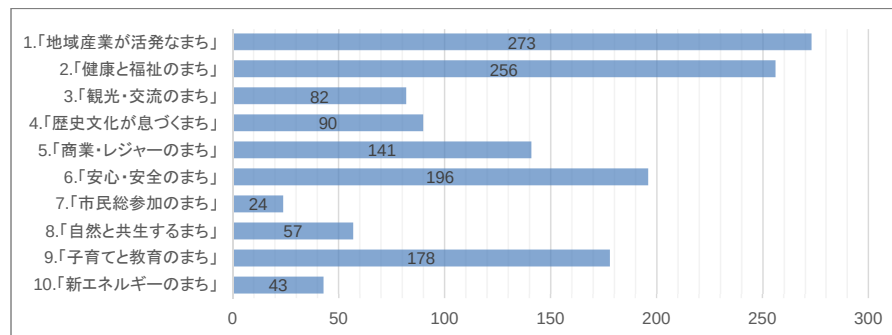
重要業績評価指標（KPI）	基準値	実績値（H30）	目標値（H31）
鹿角に愛着を持つ人の割合	—	63.1%	68.0%

12 将来のまちの姿について

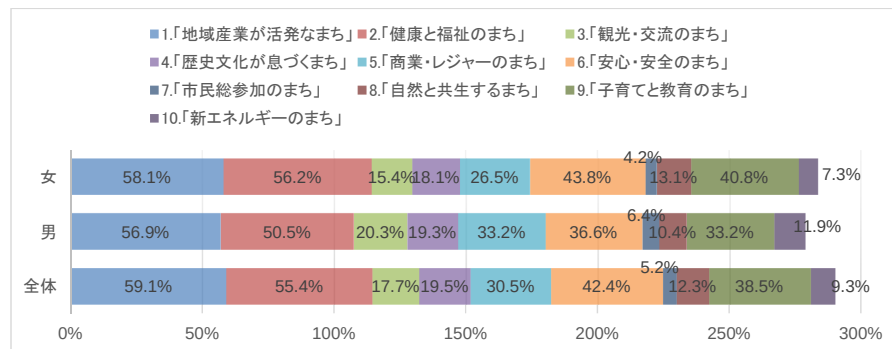
設問 13 あなたや家族、地域のひとが将来にわたって豊かに暮らすために、大切だと思うまちの姿を3つまで選び○をつけてください。

1. 職業選択が豊富で、経済成長し続ける「地域産業が活発なまち」
2. 誰もが健康に暮らせ、福祉が充実した「健康と福祉のまち」
3. 多くの観光客や市外との交流が活発な「観光・交流のまち」
4. 伝統や文化が継承され「歴史文化が息づくまち」
5. 娯楽や買い物施設が多く、余暇活動が充実した「商業・レジャーのまち」
6. 災害や犯罪の少ない「安心・安全のまち」
7. 住民がつながり、誰もがまちづくりに参画する「市民総参加のまち」
8. 農山村環境が守られ、「自然と共生するまち」
9. 子育てや教育環境が充実した「子育てと教育のまち」
10. 環境資源と先端技術を活用した「新エネルギーのまち」

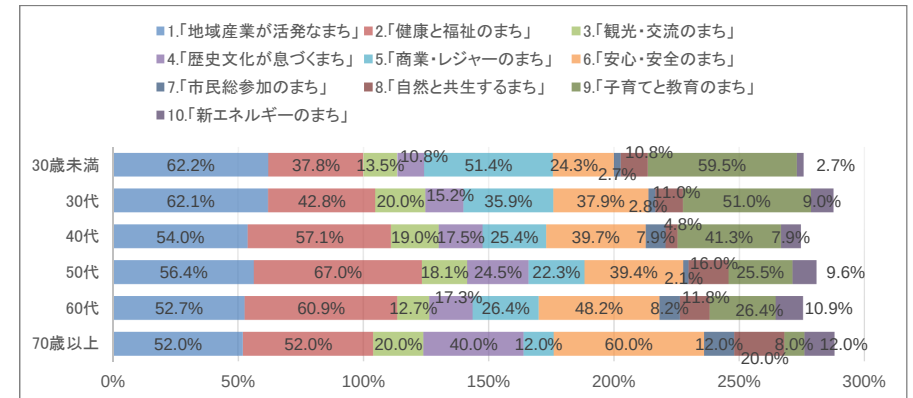
①全体



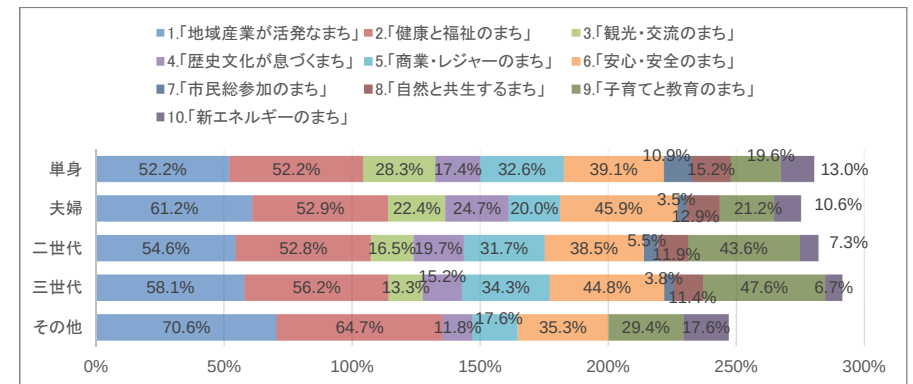
②男女別



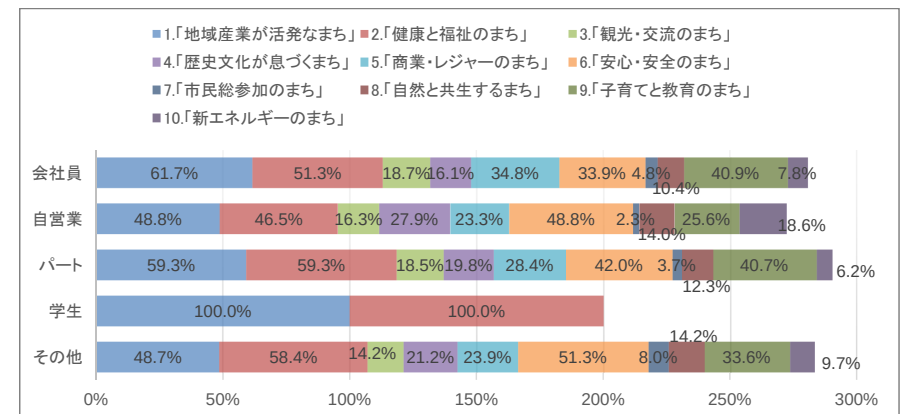
③年代別



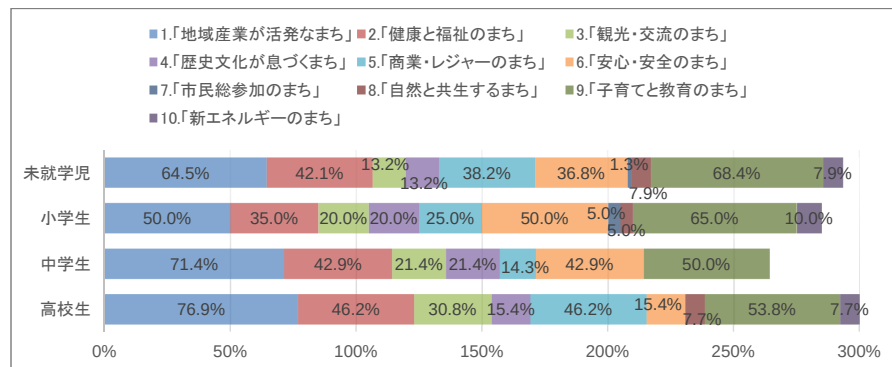
④世帯構成別



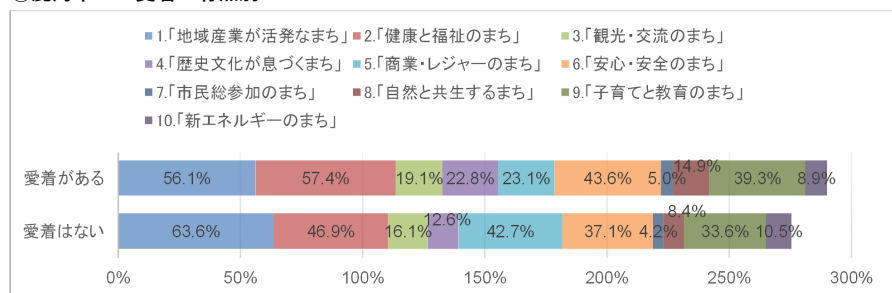
⑤職業別



⑥子どもの成長段階別



⑦鹿角市への愛着の有無別



⑧分析結果

将来にわたり豊かに暮らすために大切なまちの姿として最も多く選ばれたものは、職業選択が豊富で経済成長し続ける「地域産業が活発なまち」となっています。2番目には、誰もが健康に暮らせ、福祉が充実した「健康と福祉のまち」、3番目には、災害や犯罪の少ない「安心・安全のまち」が多く選ばれています。

年代別の傾向を見ると、「地域産業が活発なまち」はどの年代からも多く選ばれています。「健康と福祉のまち」は40代から60代から多く選ばれていますが、「安心・安全のまち」は年代が上がるほど重視される傾向にあり、一方では「子育てと教育のまち」と「商業・レジャーのまち」は、若年層ほど重視される傾向にあります。

子育てをしている方の子どもの成長段階別では、子どもの成長が進むにつれ、「地域産業が活発なまち」を支持する方が多くみられます。

鹿角市への愛着の有無別で比べると、愛着があるとした人では「健康と福祉のまち」「歴史文化が息づくまち」を選択する方の割合が高く、愛着がないとした方では「地域産業が活発なまち」や「商業・レジャーのまち」を重視する傾向にあります。

全体として選択される割合が高かった、産業力の向上や健康で安心・安全な暮らしを、市民が望むまちづくりの重要なテーマとしてとらえ、将来都市像の検討に生かします。